

公表

事業所における自己評価結果

公表日 2025年 5月 31日

事業所名	たいようのはな				公表日	2025年 5月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	2	人数に対してスペースが狭い 合同になってしまうと狭い。 必要以上にバリアフリーせずに身体機能を活用できるようにしている。階段など危険な場所には手すりやセーフティーゲートを活用している。 人数によっては、二部屋使ったり2階の部屋を活用している 広い部屋が仕切れるようになっている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	15	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	2	段差が多く、バリアフリーでない 視覚提示や部屋の使い方の工夫、動線において、個別の認知特性に応じた環境調整を適宜実施している。速やかに対応できていないことがある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	3	空き時間を見つけて、少しずつでも片付けを心がける 掃除チェック表で日々確認している。 防音対策、床面の剥がれ等あるため補修が必要 2階の活動部屋が広さはあるが音がよく響くため、苦手な児童もいる様子 畳ではなくてフローリングとかだったら活動もしやすくなる活動もあるのになと思う事もあります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	2	必要に応じて対応できているが、人数や活動内容によってはスペースに限りがある場面がある。 玄関はいつも空いているので子どもが勝手に出ることもある。気づいたら直ぐに追いかけるが状況によっては追いかける暇がない時がもし、 ある事を考えると怖いと感じます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	3	把握している職員とそうでない職員がいると感じる それぞれの出勤日数によって多少の不足はあるが、都度、課題軽減できるよう工夫している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	定期的に保護者会やイベントを行っており、関係性づくりと情報共有などの場はできている。 朝礼や会議で話し合いの場が設けられている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1	気になることがあれば相談するようにしている 振り返りや会議、定期的な面談を通じて意見を出し合える場を設けている。 こまめに会議が行われている。 毎週決まった曜日に話し合いができる時間が設けられている 改善に繋がっていると思います。感じた事や悩んでる事をいえる空気感があるので助かってます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	幅広い分野の研修が行われていると思う。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	0		

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	1	利用の際の変化などはすぐに伝えるようにしている 他の職員に上手く伝わっていない
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	1	まだまだ把握できていないこともある。 全員が個別支援計画表を確認する研修や時間を設ける。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	1	全ての利用児が受検しているわけではないため、インフォーマルなアセスメントが中心となっている。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	1	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	2	固定しがちなので、具体例を上げながらの研修があると良いと思う。 SNSなどを参考にして色々な活動に挑戦し行っています。また、現場に入ってるスタッフと話あい行うようにしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	1	集団活動も異年齢間活動、高学年活動など、目的や内容によって組み方を工夫している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	2	送迎や出勤時間で支援開始時間に全体が話し合うことが難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	2	翌日に振り返りを行っている。緊急性の高いものは当日行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	1	振り返りはできている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	14	1	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	1	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	15	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	2	必要に応じて行っている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	4	対象児童がいない まだ、そこまでの年齢になった児童がいない。 まだ学校を卒業した児童がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12	3	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	4	地域の子どもと活動する機会はまだ、ない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	3	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	現場の様子や気になった事があれば上司に相談して伝えるのが必要な事であれば送迎の際にお伝えするようにしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0	家族が参加できる機会が定期的にある
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	0	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	1	様々な方法で行なっている。 面談を行う事がないが何かあれば上司に伝えるようにする。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	15	0	年に数回の家族イベントや毎月の保護者会を行っている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	こまめに行えている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	子ども達の名前がついたものは持ち帰りをせず事業所に置いて帰るようにしている
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	1	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	0	地域住民を招待するイベントには参加する事が中々、ないので参加してみたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	0	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	災害、水害、地震などの訓練を行って行きたいです。訓練して「やってなくてよかったな」と感じる事はないので。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	職員全体の把握はできていないと思う。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	4	対象児童がない アレルギーを持った子はいないようなはなにあった事がない。もし、いたとしたら薬を預かって冷蔵庫の中に入れておいて何かあったら飲ませるとか色々、勉強しておきたいです。また、熱性痙攣とかも目の前で倒れた子を見てきたのでそう言う対応も研修や訓練で行いたいです。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0	

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	1人一冊ずつ用意されている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	定期的に行われている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	2	対象児童がいない 対象となる事案がない。